October
2026
Vol. 02
特別支援学校部会発行

2027いしかわ総文 いしかわ総文だより

はじけろ創造 彩れ未来 いざ百万石の地へ

文芸部門

文芸部門プレ大会

文芸部門プレ大会には、特別支援学校生徒の俳句・短歌が展示されました。文芸専門部理事長の本多先生から講評をいただいたので紹介します。









令和８年９月12日、13日に金沢市の石川県文教会館で行われた令和８（2026）年度 第27回北信越高校生文芸道場石川大会　第51回全国高等学校総合文化祭（2027いしかわ総文）文芸部門プレ大会に際して、石川県内の特別支援学校生徒の方たちに文芸作品を出していただき、同館のホワイエに展示させてもらいました。

石川県高等学校文芸専門部の呼び掛けに応じて出品していただいた作品は４校65名の72点に上りました。そのうち、俳句が67点、短歌が５点でした。作品の一つひとつがそれぞれの感性に彩られた味わい深いものであり、それが一堂に会することでバラエティ豊かな展示になりました。その中の一部の作品をご紹介します。

金沢大学附属特別支援学校の阿木愛望さん（１年）の俳句「かきごおり　たべてべろが　びょうきだ」は、５・７・５のリズムではない破調の作品です。破調の作品を成功させるのはなかなか難しいのですが、この作品では驚きがそのまま出たようなてらいのなさと、「色がついた」とか「冷たい」とか言うのではなく、「びょうきだ」と言ったことで驚きがさらに生き生きとし、破調の句をものにしています。

石川県立小松特別支援学校の林秋真さん（３年）の俳句「先生と　ババ抜きしてる　春の昼」は、のんびりとした雰囲気が魅力です。昼休みでしょうか。先生と一緒にトランプのババ抜きをしています。最後の一枚が残り、上がるのか、ババを引くのか、という緊張感よりも、どちらにしても笑い合っているような穏やかさを感じます。「春の昼」という季語の力が見事に生きた作品です。

石川県立明和特別支援学校の井原翔真さん（３年）の短歌「バレーボール　手でポンと押す　派手に飛ぶ　力の加減　相当むずい」からは、バレーボールに初挑戦した際の驚きと戸惑いが感じられます。自分が思っていたよりもボールは弾み、狙ったところよりもはるか先に飛んでいってしまいました。「ポンと押す」にボールを繊細に扱おうという意思が見て取れます。最初はうまくいかないかったことが、だんだんできるようになるのがスポーツの醍醐味です。

石川県立ろう学校の新谷佳音さん（１年）の俳句「遠花火　掴みたいなと　笑う君」は花火の美しさとどこか切なさも感じさせる作品です。近くで見る空を覆いつくすような花火とは違い、「遠花火」は小さく見え、音も遅れて聞こえてきます。その言葉には夏の強いエネルギーよりも、暑さが落ち着きほっとするような、そして一抹の寂しさも感じられるような風情があります。「掴みたいな」という言葉も、本当は掴めないことが前提としてあると考えれば、その風情を一層深めるものとしてよく働きます。

他にもたくさんのすばらしい作品が並び、大会の参加者や大会の講師の方たちが足を止め、作品を味わっていました。来年は第51回全国高等学校総合文化祭の本大会が金沢市で開催されます。特別支援学校の皆さんの意欲作を再び鑑賞できることを楽しみにしています。

石川県高等学校文化連盟文芸専門部理事長
石川県立金沢錦丘高等学校　本多伸也





10／17
ろう学校学園祭に
つづみ丸がやってきた

プレ大会のお知らせ

11/3(火祝)	総合開会式
11/12(木)13(金)	茶道部門
11/13(金)-15(日)	写真部門
11/14(土)	郷土芸能部門
11/14(土)15(日)	新聞部門
12/19(土)-23(水)	美術・工芸部門

11月はいろんな部門でプレ大会が開催されます
特別支援学校高等部生徒も参加するぶし！

【　総合開会式　】 **ろう学校高等部**と田鶴浜高校手話部の合同チームが手話パフォーマンスを披露！
【　茶道部門　】 **明和特支・いしかわ特支・附属特支**がおもてなしに参加
立礼（りゅうれい）　：金沢桜丘・金沢北陵・**いしかわ特支**
立礼とは...テーブルと椅子を使ってお茶を点てたり飲んだりするスタイルのこと
薄茶１（うすちゃ）：野々市明倫・県立工業・**附属特支**
薄茶２（うすちゃ）：北陸学院・金沢龍谷・**明和特支**
薄茶とは...抹茶にお湯を注ぎ、茶せんで泡立てて作る、さらっとして飲みやすいお抹茶のこと
【　写真部門　】 おもてなし企画「石川の方言」に**盲・ろう・いしかわ特支**の生徒作品が展示
ろう学校文化部も写真専門部に加盟して活動しています
【郷土芸能部門】 **明和特支の太鼓チーム「龍剣太鼓」**が演奏を披露！
【　新聞部門　】 **県内すべての特別支援学校**が参加し、作成した壁新聞が展示されます
【美術工芸部門】 今回の大会には特支生徒が２名出品します
ろう学校文化部も美術工芸専門部に加盟して活動しています
「希望の一片プロジェクト」には**県内特支全校**が参加中！

